

令和元年度 後期授業研究会・高等部報告

【中心授業】

高等部（1年生） 職業科

単元名『発見！仕事とわたし』

【授業内容】

本単元では、現場実習や職場見学を通して考えた働くために必要な力と、現在の自分の力を比較し、今後の生活における目標や取り組むべきことを考えることをねらいました。本時までの学習では、実際に複数の職場を見学したり、先輩に話を聞いたりした後にグループで話し合い、働くために必要な力について具体的な姿で捉え、考えを深めてきました。

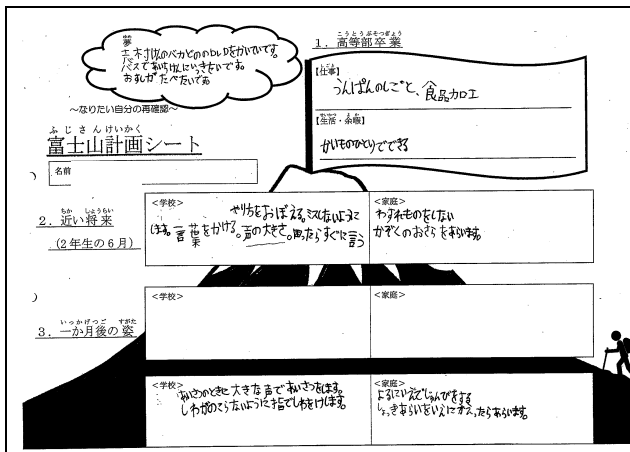
本時では、職業に係る見方・考え方を働かせて目標達成できるように、「富士山計画シート」と名付けたワークシートを用いて学習を行いました。現場実習での成果や課題と本単元で考えた働くために必要な力を比較することを通して、これからの生活で取り組むべきことを具体的に設定することができました。「食品関係の仕事がしたいから、お皿洗いを毎日する。」「体調管理ができるようになりたい。運動だけではなく睡眠も大事にする。」などと、将来の姿を想像しながら、今日から取り組む「はじめの一步」を考える姿が見られました。



必要に応じて、これまでに学習で使用した資料を振り返りながら、卒業後の姿や1年後の姿、今日からの自分について考えました。



教師との対話やイラスト付きの人生年表、仕事内容の表などが思考の助けになっていて、具体的な姿を考えて答える姿が見られました。



順を追ってワークシート（富士山計画シート）に記入することで、段階的に目標達成のための計画を考えることができました。

事後研究会のグループワークでは、考える材料や視点を限定すると良いのではないかと、生徒同士の対話の時間を設けることでより思考が深まるのではないかと、教師の支援や展開の工夫についての意見も出されました。

【事後研究会】

<共同研究者より>

香野 毅先生（静岡大学教育学部）

香野先生からは、教科の「見方・考え方」を働かせた授業作りをしていくために、どのように授業作りをしていくとよいのか、御助言をいただきました。

○職業に係る見方・考え方:「今ココ」の職業に係る事象を、将来の生き方の視点から捉えることと、そこから生まれる工夫や取り組みのために…

→時間軸の感覚(年単位)や因果性の理解についての理解が必要となる。数学等、各教科の中でおさえたい。

○富士山計画シートについて

- ・ I C F の考えを取り入れ、「タスク」「能力」「実行状況」の段階で考えることもできる。
- ・ 山登りのイメージを多様化。ルートを増やす。
- ・ 異学年交流の有効活用。

など、多くの参考になる御助言を頂きました。今後の授業作り、実践研究に生かしていきます。

